



# 2025年3月期 決算説明会

株式会社 **日本トリム**  
証券コード：6788(東証プライム)

2025年5月14日

**2025年3月期業績と2026年3月期計画**

中期経営計画

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

株主還元

# 2025年3月期業績と2026年3月期計画

過去最高

売上高

**22,463百万円**

(前期比 10.0%増)

過去最高

経常利益

**3,535百万円**

(前期比 9.5%増)

親会社株主に帰属する  
当期純利益

**2,241百万円**

(前期比 4.2%増)

売上高、営業利益、経常利益で年間過去最高を更新



過去最高

売上高

**25,000百万円**

(前期比 11.3%増)

過去最高

経常利益

**3,700百万円**

(前期比 4.7%増)

親会社株主に帰属する  
当期純利益

**2,300百万円**

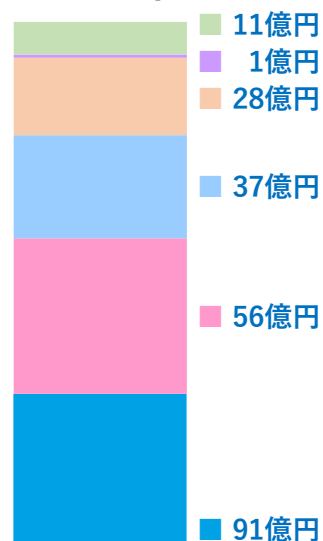
(前期比 2.6%増)

中期経営計画の初年度 売上高、営業利益、経常利益の年間過去最高更新を目指す

# 中期経営計画 業績目標（2026年3月期～2028年3月期）

売上310億円

売上224億円



2025年3月期実績

売上250億円



2026年3月期計画

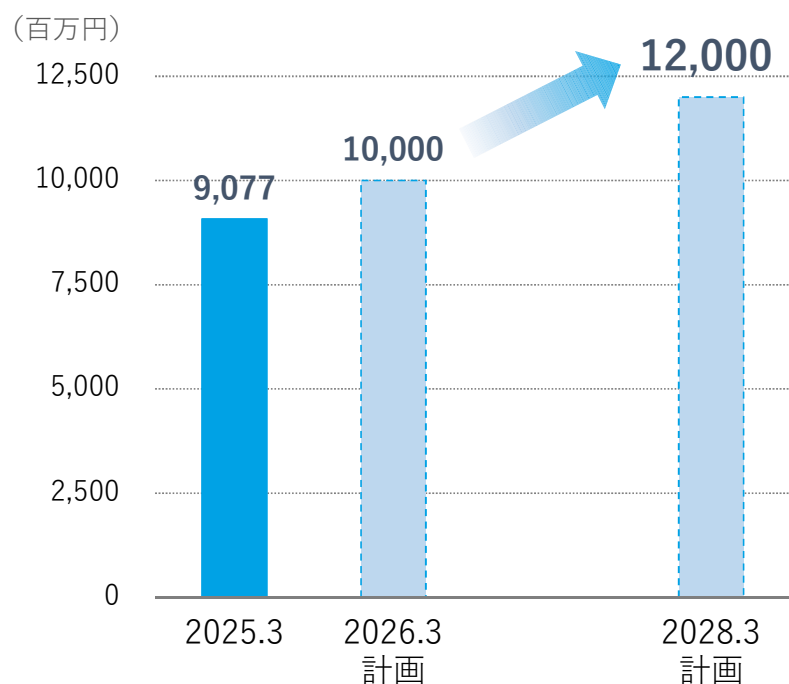


2028年3月期計画

⇒ 想定営業利益 **55億円**

## 【2028年3月期目標】 整水器売上高 120億円

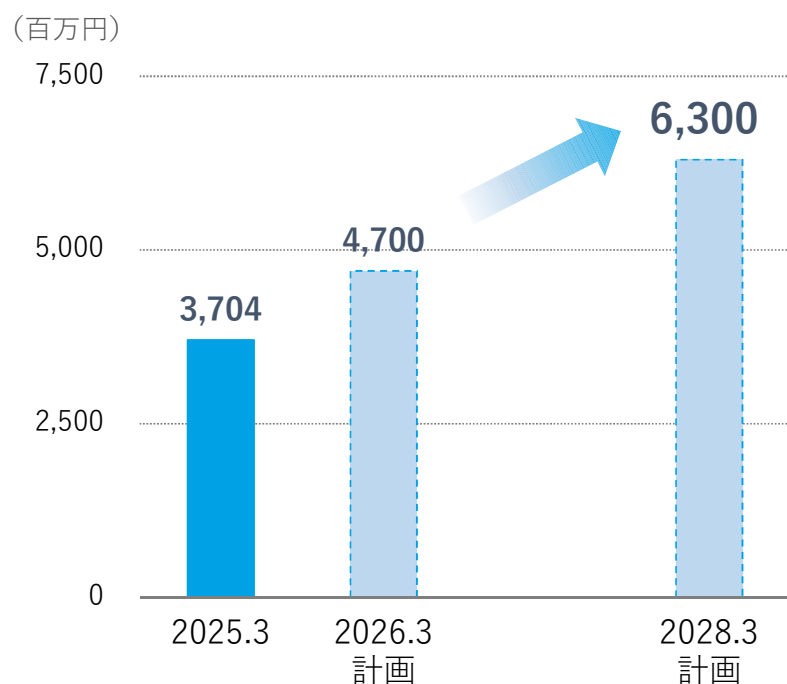
### 整水器売上高の推移



- ①営業人員の増員、営業力強化
- ②代理店網の拡充、新規チャネル開拓
- ③海外（アジア地域）の市場開拓及び拡充
- ④営業支援となる研究の推進
- ⑤新製品開発

## 【2028年3月期目標】売上高 63億円

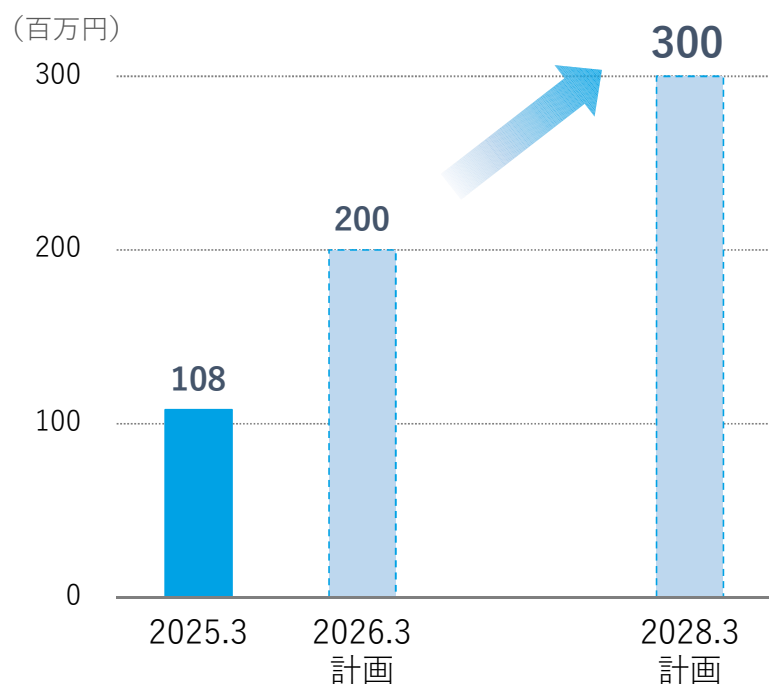
### 売上高の推移



- ① 広告・マーケティングのさらなる強化、ブランド力の向上
- ② 販売代理店、流通網の拡充（展開地域の拡大）
- ③ ローカル市場（地場の小売店舗）の開拓
- ④ デジタルマーケティングの強化、ビジビリティーの最適化
- ⑤ 生産体制の強化／新工場建設による生産量、生産効率向上

## 【2028年3月期目標】売上高 3億円

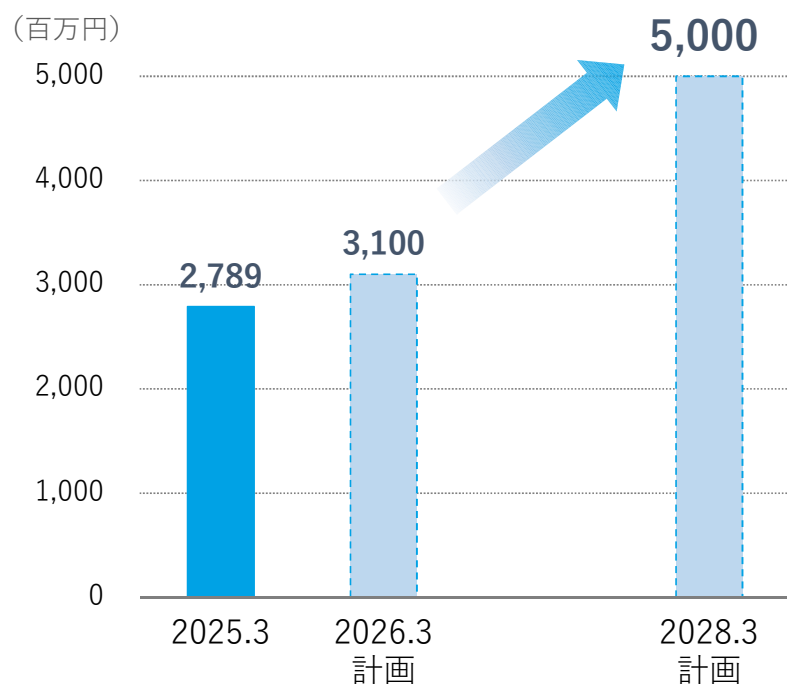
### 売上高の推移



- ①透析、腎臓関連学会、研究会等への積極的展開
- ②医師、技師等とのネットワーク強化
- ③血液透析関連企業との連携強化
- ④導入ハードルを下げる機器開発（設置環境、価格）
- ⑤医療機器化を目的とした研究開発

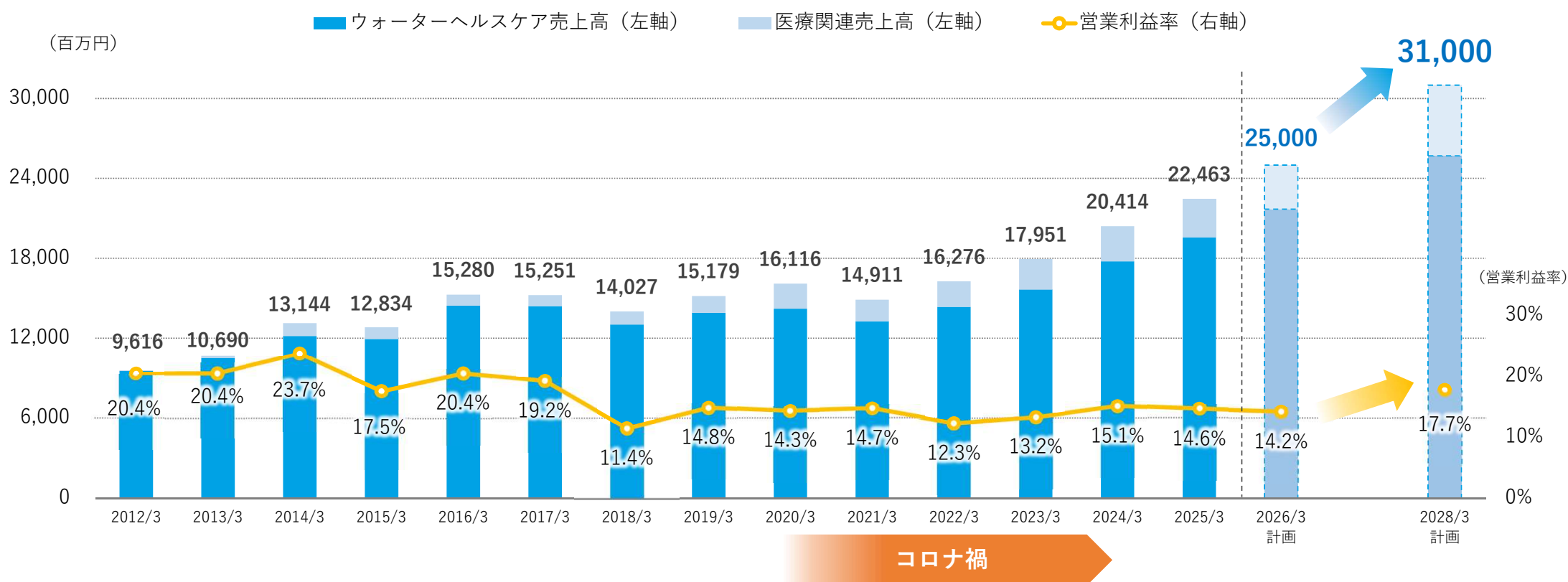
## 【2028年3月期目標】売上高 50億円

### 売上高の推移



- ①リアル及びデジタルマーケティングの連携強化
- ②さい帯血、さい帯の用途拡大に向けた研究支援
- ③再生医療、フェムテック等の関連領域の事業開発
- ④海外（東南アジア地域）の市場開拓及び拡充
- ⑤関連領域企業への積極的投資、M & Aの展開

## 2028年3月期目標達成に向け、成長路線へ。



# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

## 資本政策の基本方針

「資本効率性」「株主還元」「財務健全性」をバランスよく実現し、株主価値の持続的向上を目指す。

## 現状認識と今後の対応

- 1 資本コスト      概ね7.5%程度と認識      ▶ 2025年3月期のROEは9.7%      ▶ 2026年3月期 9.6%予想
- 2 P B R      2025年3月期末 1.23倍

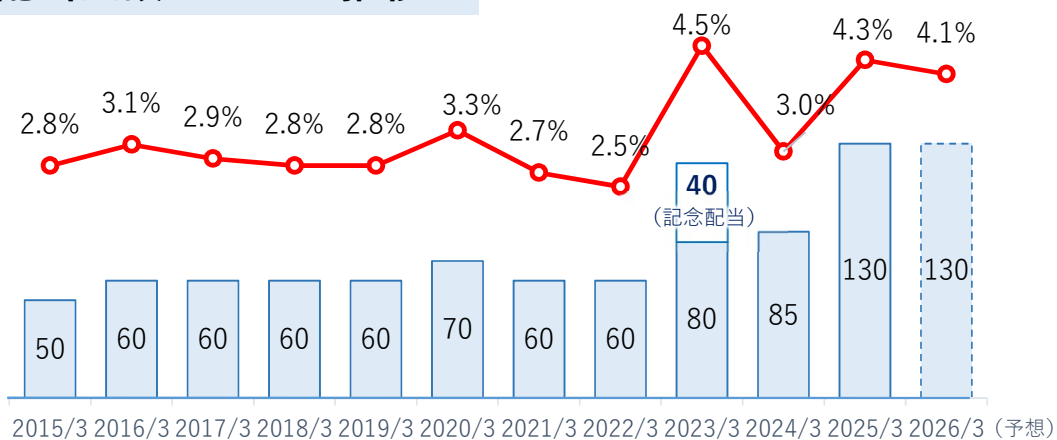
- ①2025年3月期のROEは9.7%、過去3年の実績平均は9.2%と、安定して資本コストを上回る水準。
- ②PBRは1倍を超える水準であるも、現状株価は割安であると認識。
- ③更なる企業価値向上に向け、新たに策定した中期経営計画の達成と、M&Aによる新規事業への投資や、市場評価の改善に向けたIR活動の強化、更なる株主還元策の実施に取り組む。

## 2025年5月13日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項を決議

### 自己株式取得の概要

- 1 取得し得る株式の総数 **250,000株**
- 2 株式の取得価額の総額 **1,200百万円**
- 3 取得期間 **2025年5月14日～2025年12月31日**

### 配当金額・DOEの推移



2026年3月期  
期末配当予想

**130円**

DOE **4.1%** 配当性向 **42.7%**

総還元性向 **97.6%** ※

※ 総還元性向：自己株式取得を総額1,200百万円として算出

### ROEの推移

2025年3月期  
(実績)  
**9.7%**

2026年3月期  
(予想)  
**9.6%**

2025年3月期業績の概要  
2026年3月期計画の概要

# 2025年3月期業績の概要

過去最高

売上高

22,463百万円

(前期比 10.0%増)

過去最高

経常利益

3,535百万円

(前期比 9.5%増)

親会社株主に帰属する  
当期純利益

2,241百万円

(前期比 4.2%増)

売上高、営業利益、経常利益で年間過去最高を更新

## 整水器販売事業

- ①直接販売部門は売上高8,056百万円、前期比4.4%増。  
職域販売ではスポーツ・美容分野に注力し、セミナー回数が増加。  
人員増・販売力強化への取り組みも進む。
- ②間接販売部門は売上高1,020百万円、前期比21.5%減。  
前期、各OEM先の値上げ前の駆け込みによる売上増の影響。
- ③浄水カートリッジは売上高5,602百万円、前期比4.8%増。  
顧客フォロー強化により高い購買率を維持。  
安定した収益基盤を確保。

## ボトルドウォーター事業

前期から継続している広告・マーケティング強化施策が奏功し、  
売上高3,704百万円、前期比63.4%増と大幅躍進。

## 電解水透析事業

当期3施設への導入で売上高108百万円、前期比79.2%増。  
現在34施設、1,030床に導入。

## 再生医療関連事業

さい帯血・さい帯保管のステムセル研究所が過去最高売上を更新。  
新プラン導入による成約率向上と単価上昇効果が寄与。

# 2025年3月期 連結業績サマリー

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2024年3月期 実績		2025年3月期 実績		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	20,414	100.0%	22,463	100.0%	+ 2,048	+ 10.0%
売上原価	6,194	30.3%	7,027	31.3%	+ 832	+ 13.4%
売上総利益	14,220	69.7%	15,436	68.7%	+ 1,216	+ 8.6%
販売費及び一般管理費	11,139	54.6%	12,150	54.1%	+ 1,011	+ 9.1%
営業利益	3,080	15.1%	3,285	14.6%	+ 205	+ 6.7%
経常利益	3,227	15.8%	3,535	15.7%	+ 308	+ 9.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,150	10.5%	2,241	10.0%	+ 91	+ 4.2%
一株当たり当期純利益(円)	280.51	—	292.41	—	+ 11.90	+ 4.2%

## 売上総利益率の低下要因

### ①事業構成比率の変化

ボトルドウォーター事業の拡大

### ②原価の上昇

## 特別損益項目

①投資有価証券売却益 149百万円(第1Q)

②関係会社株式評価損 214百万円(第4Q)

# 2025年3月期 セグメント別売上高

単位：百万円 (百万円未満切捨)		2024年3月期 実績		2025年3月期 実績		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
ウォーターヘルスケア	(フロービジネス)						
	DS事業部 (職域販売)	4,543	22.3%	4,897	21.8%	+ 353	+ 7.8%
	HS事業部 (取付・紹介販売)	1,518	7.4%	1,419	6.3%	△98	△6.5%
	SS事業部 (店頭催事販売)	522	2.6%	549	2.4%	+ 26	+ 5.2%
	メンテナンス部門	319	1.6%	332	1.5%	+ 13	+ 4.2%
	リプレイス部門	348	1.7%	436	1.9%	+ 88	+ 25.4%
	WEB販売	467	2.3%	421	1.9%	△46	△9.9%
	MS事業部 (卸・OEM)	1,300	6.4%	1,020	4.5%	△280	△21.5%
	整水器合計	9,020	44.2%	9,077	40.4%	+ 57	+ 0.6%
	(ストックビジネス)						
	カートリッジ	5,348	26.2%	5,602	24.9%	+ 254	+ 4.8%
	(子会社売上)						
	広州多寧健康科技有限公司	186	0.9%	147	0.7%	△38	△20.8%
	PT. SUPER WAHANA TEHNO	2,267	11.1%	3,704	16.5%	+ 1,436	+ 63.4%
	(その他)	955	4.7%	1,033	4.6%	+ 78	+ 8.2%
	小計	17,777	87.1%	19,565	87.1%	+ 1,787	+ 10.1%
医療関連	再生医療関連事業	2,576	12.6%	2,789	12.4%	+ 213	+ 8.3%
	電解水透析事業	60	0.3%	108	0.5%	+ 47	+ 79.2%
	小計	2,636	12.9%	2,898	12.9%	+ 261	+ 9.9%
連結合計		20,414	100.0%	22,463	100.0%	+ 2,048	+ 10.0%

# 株主還元

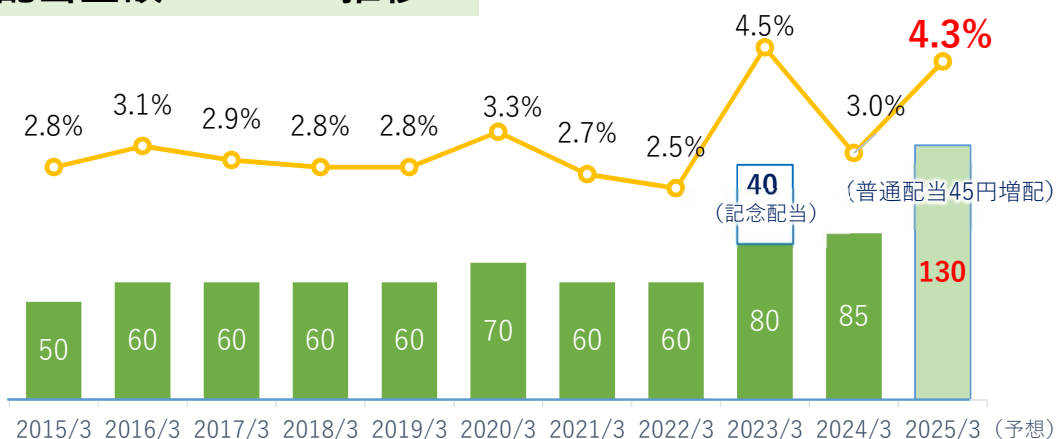
## 具体的数値目標

1 資本効率性の向上 目標指標：ROE 10%以上

2 株主還元の強化 基準：DOE 3% **DOE 4%**

※ ROE（自己資本利益率） ※ DOE（株主資本配当率）= ROE × 配当性向

## 配当金額・DOEの推移



2025年3月期  
期末配当予想 **130円** **45円増配**

DOE **4.3%** 配当性向 **44.5%**

## 株主優待制度

※ 2024年6月取締役会により拡充を決定

電解水素水整水器 40%オフ  
浄水カートリッジ 30%オフ

## ROEの推移

2024年3月期  
(実績)  
**9.9%**

2025年3月期  
(実績)  
**9.7%**

# 2026年3月期計画の概要

過去最高

売上高

25,000百万円

(前期比 11.3%増)

過去最高

経常利益

3,700百万円

(前期比 4.7%増)

親会社株主に帰属する  
当期純利益

2,300百万円

(前期比 2.6%増)

中期経営計画の初年度 売上高、営業利益、経常利益の年間過去最高更新を目指す

## 整水器販売事業

- ①直接販売部門は売上高8,800百万円、前期比9.2%増。  
営業人員採用強化。DS 121名⇒135名、HS40名⇒50名。
- ②間接販売部門は売上高1,200百万円、前期比17.6%増。  
既存OEM代理店の活性化。  
新規海外案件（インド、タイ、マレーシア）の具体化。
- ③浄水カートリッジは売上高5,740百万円、前期比2.5%増。

## ボトルドウォーター事業

売上高4,700百万円、前期比26.9%増を目標。  
シェア拡大に向け、広告・マーケティング施策を一層強化。  
2025年度は先行投資の費用増による減益を計画。

## 電解水透析事業

当期 6 施設への導入見込みで売上高200百万円、前期比84.3%増。

## 再生医療関連事業

ステムセル研究所は過去最高収益を計画。  
シンガポール子会社の事業本格化に向けた取り組みに注力。

# 2026年3月期 連結業績予想

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2025年3月期 実績		2026年3月期 計画		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	22,463	100.0%	25,000	100.0%	+ 2,536	+ 11.3%
売上原価	7,027	31.3%	8,200	32.8%	+ 1,172	+ 16.7%
売上総利益	15,436	68.7%	16,800	67.2%	+ 1,363	+ 8.8%
販売費及び一般管理費	12,150	54.1%	13,260	53.0%	+ 1,109	+ 9.1%
営業利益	3,285	14.6%	3,540	14.2%	+ 254	+ 7.7%
経常利益	3,535	15.7%	3,700	14.8%	+ 164	+ 4.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,241	10.0%	2,300	9.2%	+ 58	+ 2.6%
一株当たり当期純利益(円)	292.41	—	304.74	—	+ 12.32	+ 4.2%

## 売上総利益率

事業構成比率の変化による売上総利益率の低下を想定

## 販売費及び一般管理費

- ①人件費及び採用コストの増加
- ②広告・マーケティング強化

事業拡大への先行投資  
(整水器事業、ボトルウォーター事業)

## 一株当たり当期純利益

自己株式取得を想定して算出

取得株式数：250,000株（上限）

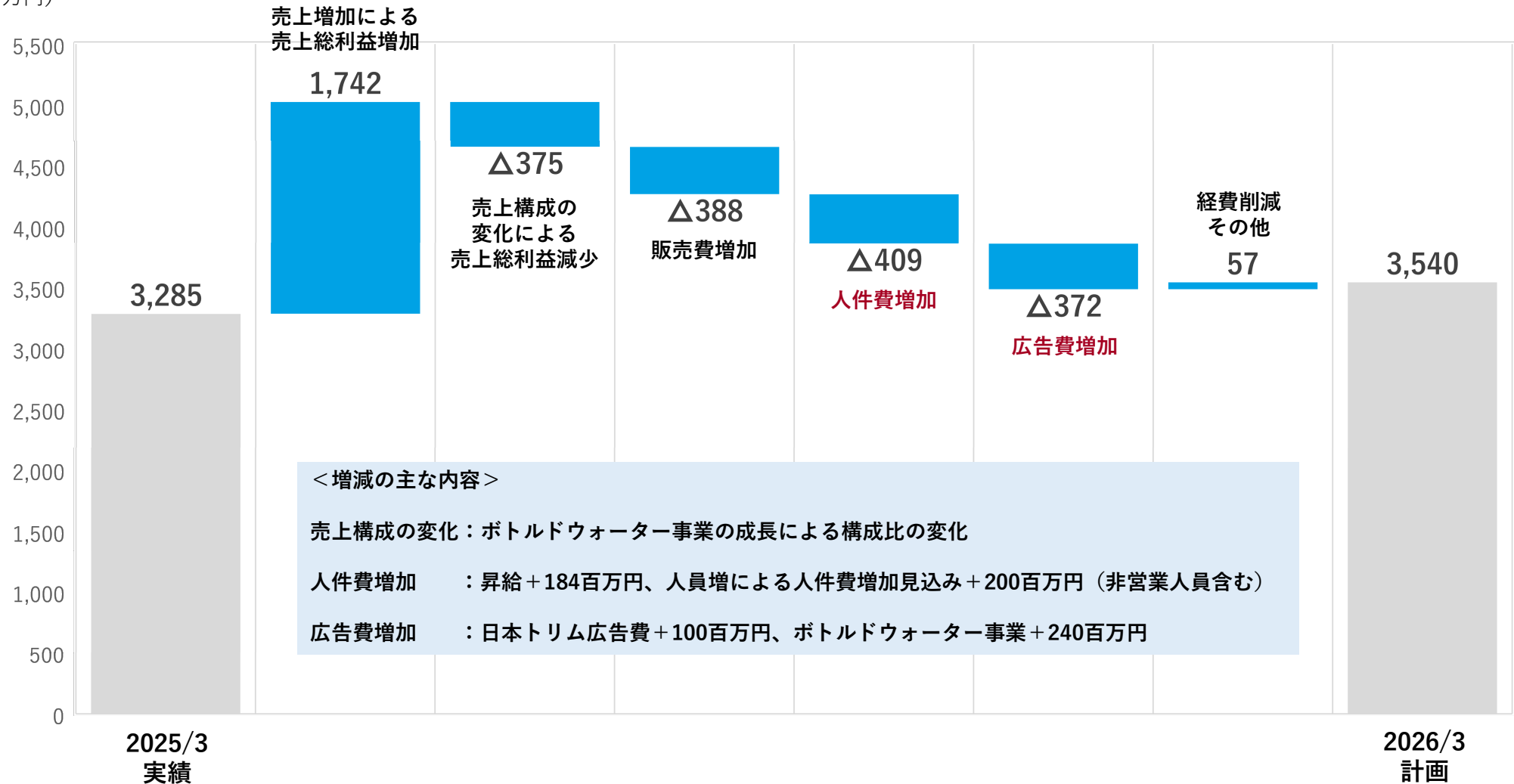
取得金額：1,200百万円（上限）

# 2026年3月期 セグメント別売上高予想

単位：百万円 (百万円未満切捨)		2025年3月期 実績		2026年3月期 計画		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
ウォーターヘルスケア	(フロービジネス)						
	DS事業部 (職域販売)	4,897	21.8%	5,411	21.6%	+ 513	+ 10.5%
	HS事業部 (取付・紹介販売)	1,419	6.3%	1,534	6.1%	+ 114	+ 8.0%
	SS事業部 (店頭催事販売)	549	2.4%	581	2.3%	+ 31	+ 5.8%
	メンテナンス部門	332	1.5%	343	1.4%	+ 10	+ 3.2%
	リプレイス部門	436	1.9%	456	1.8%	+ 19	+ 4.5%
	WEB販売	421	1.9%	475	1.9%	+ 53	+ 12.8%
	MS事業部 (卸・OEM)	1,020	4.5%	1,200	4.8%	+ 179	+ 17.6%
	整水器合計	9,077	40.4%	10,000	40.0%	+ 922	+ 10.2%
	(ストックビジネス)						
	カートリッジ	5,602	24.9%	5,740	23.0%	+ 137	+ 2.5%
	(子会社売上)						
	広州多寧健康科技有限公司	147	0.7%	150	0.6%	+ 2	+ 1.7%
	PT. SUPER WAHANA TEHNO	3,704	16.5%	4,700	18.8%	+ 995	+ 26.9%
	(その他)	1,033	4.6%	1,110	4.4%	+ 76	+ 7.4%
	小計	19,565	87.1%	21,700	86.8%	+ 2,134	+ 10.9%
医療関連	再生医療関連事業	2,789	12.4%	3,100	12.4%	+ 310	+ 11.1%
	電解水透析事業	108	0.5%	200	0.8%	+ 91	+ 84.3%
	小計	2,898	12.9%	3,300	13.2%	+ 401	+ 13.9%
連結合計		22,463	100.0%	25,000	100.0%	+ 2,536	+ 11.3%

# 2026年3月期 営業利益の増減内容

(百万円)

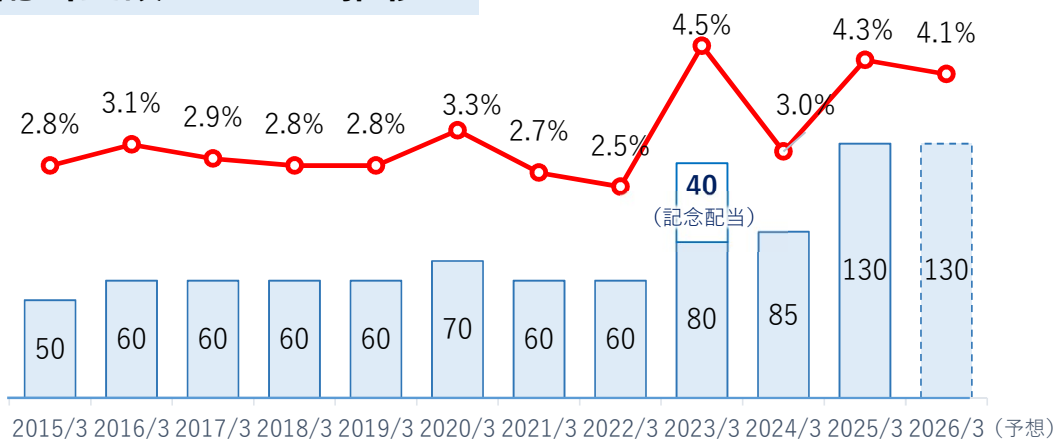


## 2025年5月13日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項を決議

### 自己株式取得の概要

- 1 取得し得る株式の総数 **250,000株**
- 2 株式の取得価額の総額 **1,200百万円**
- 3 取得期間 **2025年5月14日～2025年12月31日**

### 配当金額・DOEの推移



2026年3月期  
期末配当予想

**130円**

DOE **4.1%** 配当性向 **42.7%**

総還元性向 **97.6%** ※

※ 総還元性向：自己株式取得を総額1,200百万円として算出

### ROEの推移

2025年3月期  
(実績)  
**9.7%**

2026年3月期  
(予想)  
**9.6%**

# Appendix

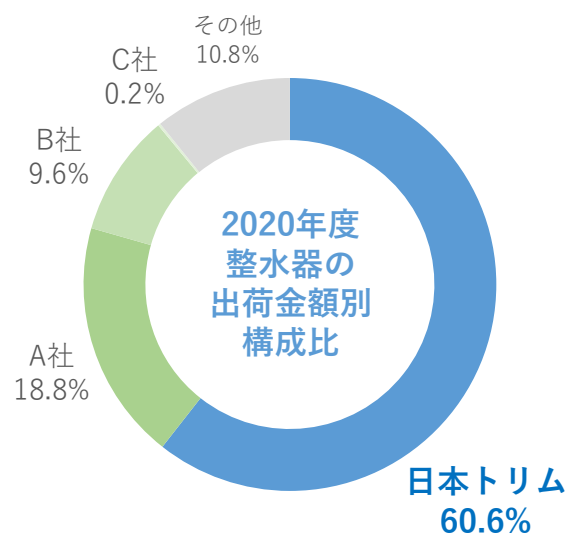
## 社会は何時の時代も我々の製品を必要としている。

電解水素水の普及により、  
グローバルに**予防医療**、  
**医療費削減**へ貢献することが、  
**我々の使命**



## 日本トリムは電解水素水の可能性を追求し、健康の維持・増進に貢献する企業

### 1 整水器における国内圧倒的トップシェア



出典：株式会社矢野経済研究所  
「2021年版 浄水器・整水器市場の実態と展望」

### 2 電解水素水の可能性の拡大



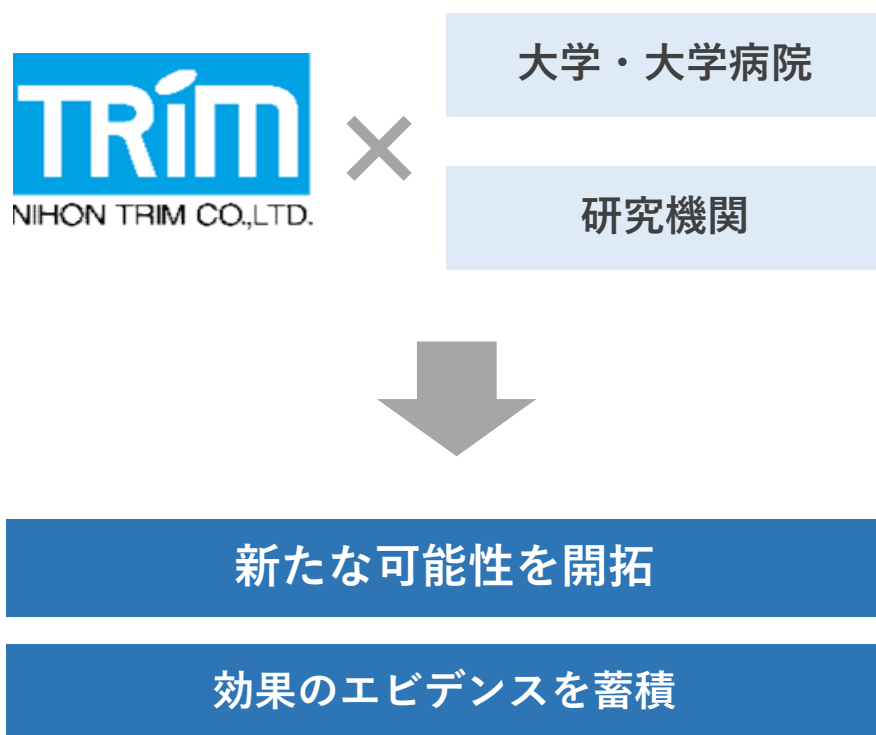
### 3 電解水素水に関する共同研究を様々な機関と推進



新たな可能性を開拓

効果のエビデンスを蓄積

## 電解水素水の新たな可能性を開拓すべく、共同研究・地域連携でさまざまな研究を展開



### 直近に発表した論文

#### 2024年度

- ・電解水透析実態調査で1年後の生命予後リスク低減（電解水透析研究会）
- ・電解水透析の透析疲労を改善する可能性（東北大学、聖路加国際病院）
- ・ナノファブリック型新規高性能白金電極触媒開発（東京大学）

#### 2023年度

- ・電解水素水の多様な利点に関する総説（理化学研究所）
- ・包括的腎臓病対策研究の総説（東北大学、聖路加国際病院）
- ・メタボリックシンドロームと予備軍の腹囲を減少（高知大学、須崎市）

#### 2022年度

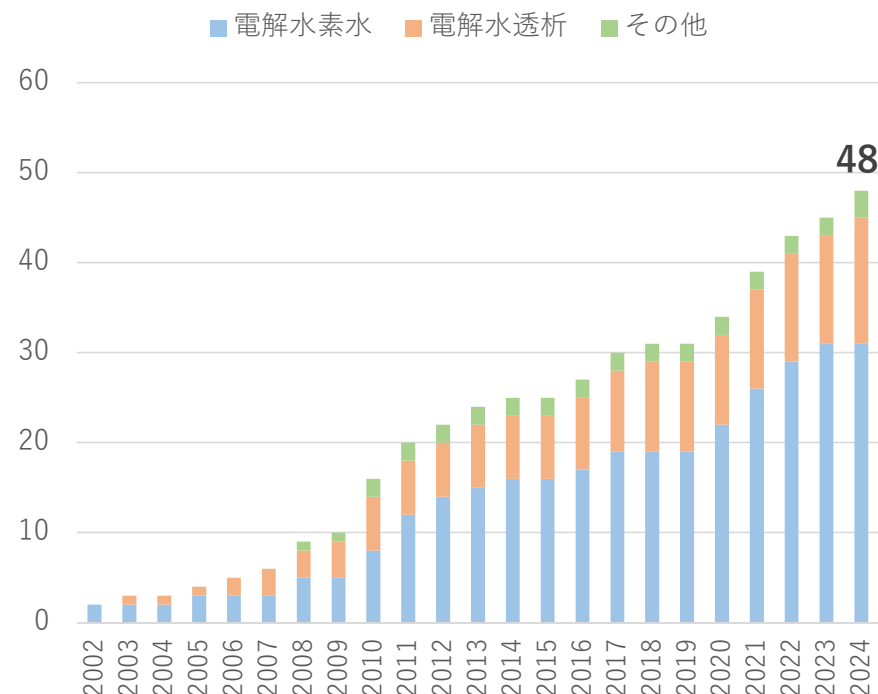
- ・酸化ストレスへの有効性（理化学研究所）
- ・炎症性腸疾患の症状を緩和（理化学研究所）
- ・重度疲労感低減作用を確認（聖路加国際病院、日鋼記念病院）

#### 2021年度

- ・重度の透析関連疲労感をほぼ消失（聖路加国際病院、愛仁会 井上病院、疲労科学研究所、理化学研究所）
- ・インスリン抵抗性高値を改善（東北大学）
- ・アルコールによる肝細胞傷害を軽減するメカニズム解明（早稲田大学）

## 電解水素水の新たな可能性を開拓すべく、共同研究・地域連携でさまざまな研究を展開

### 電解水素水関連発表論文 累計数



※2025年度は4報投稿中、2報投稿予定

### 当社と共同研究を行う主な大学・研究機関

理化学研究所

東京大学未来ビジョン  
研究センター

立命館大学

東北大学

帯広畜産大学

九州大学

高知大学

神戸大学

2023年4月  
当社と共同でエッセンシャルヘルスケア  
科学に関する共同研究講座を新設

当社の発表論文の詳細は、下記をご参照ください。

[https://www.nihon-trim.co.jp/research/thesis\\_water/](https://www.nihon-trim.co.jp/research/thesis_water/)





健康経営優良法人2025（2020年より6年連続）

電解水素水「ウォーターヘルスケアという、新習慣。」

社内取組：健康経営を成長戦略と捉え推進

- ・医療費削減／労働生産性向上／経営の効率化  
社員の離職率低下
- ・管理本部主導で健保、産業医と連携  
健康経営責任者：代表取締役社長  
健康経営推進責任者：管理本部担当役員

社外取組：企業の健康経営・福利厚生の一助として訴求

# 日本トリムグループのサステナビリティ

## 企業理念：「快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する」

### 【マテリアリティ（重要課題）】



# 将来予測に関する免責事項

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。